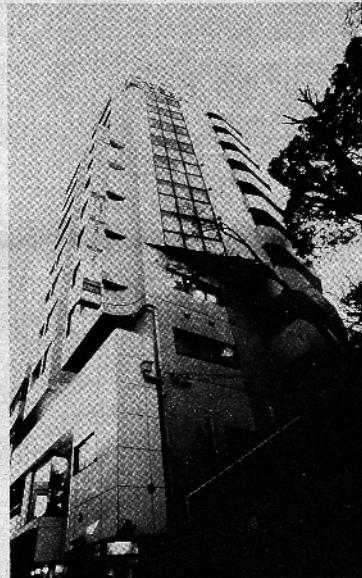


ギョーカイ最前線



ミュージック・カレッジ・メーザー・ハウス メーザー・ヴォーカル・ハウス

夢はミュージシャンが巨人の星？ メーザーの休日には野球で燃える



▲このビルがメーザー・ハウスである。1階に派出所があるので、なんか安心な気がするぞ

以外な穴場 池尻大橋

ところでメーザーは池尻大橋にある。池尻大橋。それってどこだっけと首をかしげる方も多いと思う。まあこれが渋谷と三軒茶屋などという、名実ともにビックな街に挟まれて、正直いって目立たないかわいそいな街ではある。

しかし諸君、渋谷には歩いてたった15分。逆方向に歩いて三茶までたった10分。ま、別に歩かなくてもバスがとっても充実してるし、穴場というかメーザーはなかなかおもしろい場所にあるんじゃないかと思うぞ。諸君。

で、やっぱり、メーザーの学生は、授業の空き時間とか、学校帰りは渋谷方面に行ってブラブラしてるらしい。

「渋谷のタワーレコードとかHMVを物色する」「楽器屋を見に行く。いっぱいあるので退屈しない……なんか、うらやましいぞ。でも、学校がこーゆーい場所にあるにもかかわらず、暇な時間は校舎のスタジオで練習練習また練習する学生もたまに多い。まあ、い

ずれにせよ、どんな時間も音楽から離れられない学生ばかりということなんだろうー。

一方、寮も学校の近くにひとつと、三茶にひとつあるので、地方から来た若人も安心して渋谷・三茶に遊びにいける。もとい学校に通えるということになっている。またアパートを借りてる学生も、多くは学校の近くに住んでるが、やっぱり当然、渋谷や三茶よりも家賃の相場は低い。うん、こりゃまさに穴場ってなわけで、取材してて思わず池尻大橋に引越したくなっちゃいましたよ。ほくほ。

もちろん、入学すれば、入寮の世話とか、アパートの斡旋を学生課がちゃんとしてくれるので、バッチシ安心である。

アーティストを 育てたい

メーザーといえば、その卒業生の活躍ぶりで名高い。ユニコーンの阿部義晴や、プリプリの今野登茂子とゆーのはもう有名だが、最近では、ブラ



▲ロビー風景。真面目に練習している者多し。カメラを向けてもみんな意識しないところがアーティストっぽい



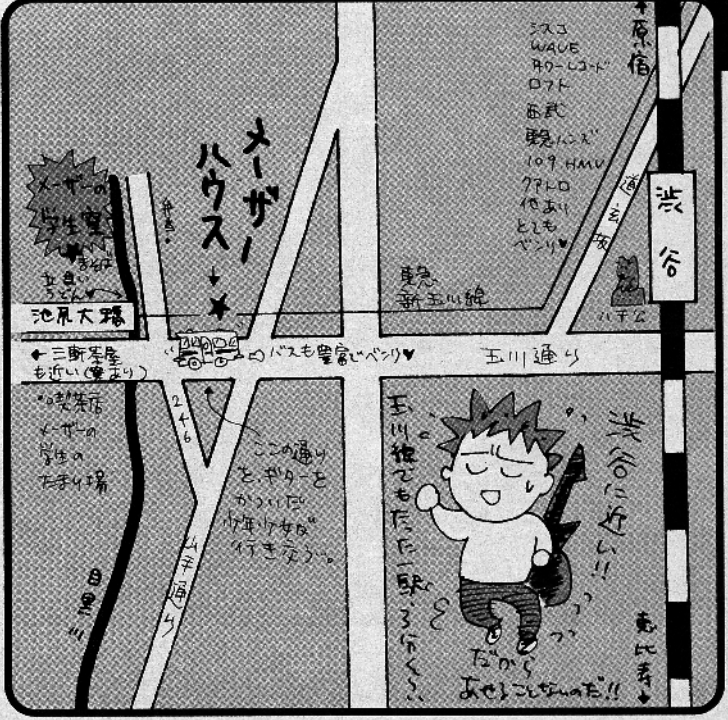
▲こーいう感じで、ロビーに自分たちのバンドのメンバー募集や、ライブ情報などが張りだされているのだ

ンキーエットシティの中村達也、バラダイスジャムの原田けん太、はたまた、シエティドールズのギタリストの増田直記もメーザー出身である。また、在学中でありながらピンクサファイアのサポート（キーボード）をやっている人がいたり、クラブで歌っていたりする学生もいる。

学校の側もそのへんは意識していて、卒業後、音楽業界に就職してもらいたいというよりは、アーティストとして活躍してもらいたいという希望があるらしい。だから、どの学科でも、卒業の時点で最低限、譜面だけでも読めるようにといった実践的なカリキュラムが組まれている。

また、次ページの井上先生のお話でもふれられているように、ひとつの音楽のジャンルにとらわれないことのないよう、様々な音楽が多方面から勉強できるような態勢になっている。そんなわけで、「音楽の深さがわかってきた」「入学後、音楽の趣味が変わった」「ふだん聞いている曲が、どんな考え方で作られているかわかるようになった」と学生たちの反応もよい。

学科構成は、ギター、ピアノ科など8つの学科からなるメーザー・ハウスと、ボーカル部のメーザー・ヴォーカル・ハウスのふたつの柱から成り立っている。特にボーカル部は、ボーカル習うならメーザー、と言われるほどの業界での信頼は高い。が、ボーカリストは、ソロでデビューするのはなかなか難しいという現実があり、試練と覚悟が必要とされる。ただバックコーラスという仕事は需要は数多くあるので、



野球とセッションで 汗を流す

最初からプロのコーラスを目指して入学してくる学生も多いとか。

ミュージシャンと野球……。なんかこれ以上ミスマッチなものはないって感じだが、メーザーでは、学生の交流、先生との親睦を深めるために、年に何度かソフトボール大会を行っており、これが結構盛り上がるらしい。先生にプロのミュージシャンが多いメーザーなので、ソフトボール大会の時は「有名な先生がたくさん来すぎて、もう誰が誰かわからない」といったものすごい事態になるという(笑)。

また、年2回、全員参加の発表会があるほか、学校のスタジオで、朝から晩まで、飛び入り参加自由、出入り自由の大セッション大会が催されるなど、なんだか、年がら年中盛り上がっている様子である。楽しくいいよね。